

○TRACK 07 / ピロートーク / ラブホテル / 夕方

あれ？

私、寝てた？

き、気絶してたの？

ごめん、夢中になりすぎたかも。

うわあ……シーツもびちゃびちゃになってる。

これ、私が出しちゃったの？

そ、そうなんだ。

こんなに、その、濡れちゃうものなんだね。

き、気持ちよくて、

つい夢中になっちゃった。

……私、やっぱりおかしいのかな。

あなたの顔を見ると、

どうしてもセックスしたくなっちゃう。

我慢出来なくなるの。

私ね、あなたのことパパみたいって思ってる。

うん、本当の父親じゃなくて、

私の想像する理想の男性というか。

かっこよくて、たくましくて、

私が甘えても優しく受け入れてくれる。

そんな存在があなたなの。

だからこそ、怖いんだ。

あなたがいつか、私のことイヤになって、
捨てるんじゃないかって怖くなるの。

だからセックスしたい。
セックスしてもらえたら、
愛されてるって実感出来る。

うん、他のことじゃダメ、
あなたとセックスしないと満たされない。

出来ないと頭の中がセックスのことで、
いっぱいになっちゃうの。

.....うん、私もおかしいって思う。
ずっと、セックスのことばかり考えてるなんて、
おかしいよね。

エッチな嫁でごめんなさい。
でも、自分でも、
どうしたらいいかわからなくて、
き、嫌いにならないでね。

あなたに捨てられたら、私、私.....、

……いいの？

私みたいにエッチな女の子でも、
嫌いにならない？

本当？

その言葉、信じるよ？

信じて信じて、

一生その言葉にすがっていくよ？

……やっぱり、あなたは素敵。

うん、私も好き。

あなたのこと大好きだよ。

んっ、ちゅっ、はあ、ちゅっ、ちゅっ。

はあ、んっ、

……気づいちゃった？

うん、おまんこ、また濡れてきちゃった。

……うん、エッチでごめん。

でも、またしたくなっちゃった。

あなたがカッコ良すぎるからいけないんだよ。

んっ、ちゅっ。

ねえ、もう一回……、

あ、もう時間なんだね。
私、そんなに倒れてたんだ。

じゃあ、着替えて帰ろうか.....。

どうしたの？
早く着替えないと時間が.....、
延長？って何？

もしかして、まだ時間あるの？

私のために？
ありがとう、大好き。

じゃあ、今夜はいっぱい甘えちゃうね。
寂しがりの私のこと、
いっぱい満たして欲しいな。

私、あなたがいないと生きていけないよ。

だから、私のこと、
絶対に見捨てないでね。
約束だよ。